

# あわーず福岡飯塚訪問看護リハステーション ST通信 (No3)

## このような症状でお困りの方（自宅・施設）

- ①ことばが思うように出てこない。
- ②声が出し辛い。弱々しく小さくなった。
- ③会話がわかり辛い。噛み合わなくなった。
- ④食べ辛さ（噛みにくい・飲み込みにくい・むせやすい）
- ⑤（脳血管障害後遺症の方）・（誤嚥性肺炎高リスク・繰り返す方）など。

### 是非、ご相談下さい！！

\*人が生きていくためには、人との関わり合いは欠かせません。また食事も欠かせないものです。**お喋りを愉しみ、食事を楽しむ。**生きがいに繋がります！！  
より良い日々・人生を実現するために少しでもお役に立てればと考えています。

\*自宅で不自由さを感じている。施設で不自由さを感じている。退院予定で自宅で維持・改善したい。これからの備え予防したいなど。どんな些細な事も構いません。まずは御連絡下さい。不安を解決していきましょう。

（あわーず訪問看護リハステーション：050-6865-5744）

言語聴覚士：江里口



## あわーず福岡

訪問看護リハステーション  
居宅介護支援ステーション

〒820-0065  
福岡県飯塚市中475-3  
事業所番号：4065590228

まずはお気軽にお問合せください★

TEL 050-6865-5744

FAX 0948-43-3669

## あわーずが選ばれる6つのpoint★

- ① 365日24時間体制
- ② 多彩な訪問リハビリが可能。理学・作業療法士、言語聴覚士、看護師もリハビリ対応可  
（言語障害・嚥下障害・栄養障害・高次脳機能障害など）
- ③ 精神科看護、特化したりハビリや 就業支援可能
- ④ 終末期における質の高い看護の提供  
（湯灌・エンゼルケア・グリーフケア等）

- ⑤ 交通費無料
- ⑥ 自費による外出支援可能  
\*小児・精神・終末期対応可能

《幅広いエリアに対応》事業所 飯塚市  
（飯塚市・田川市郡・直方市・宮若市・嘉麻市・小竹町  
鞍手・桂川）など筑豊地区全域（エリア外も応相談）

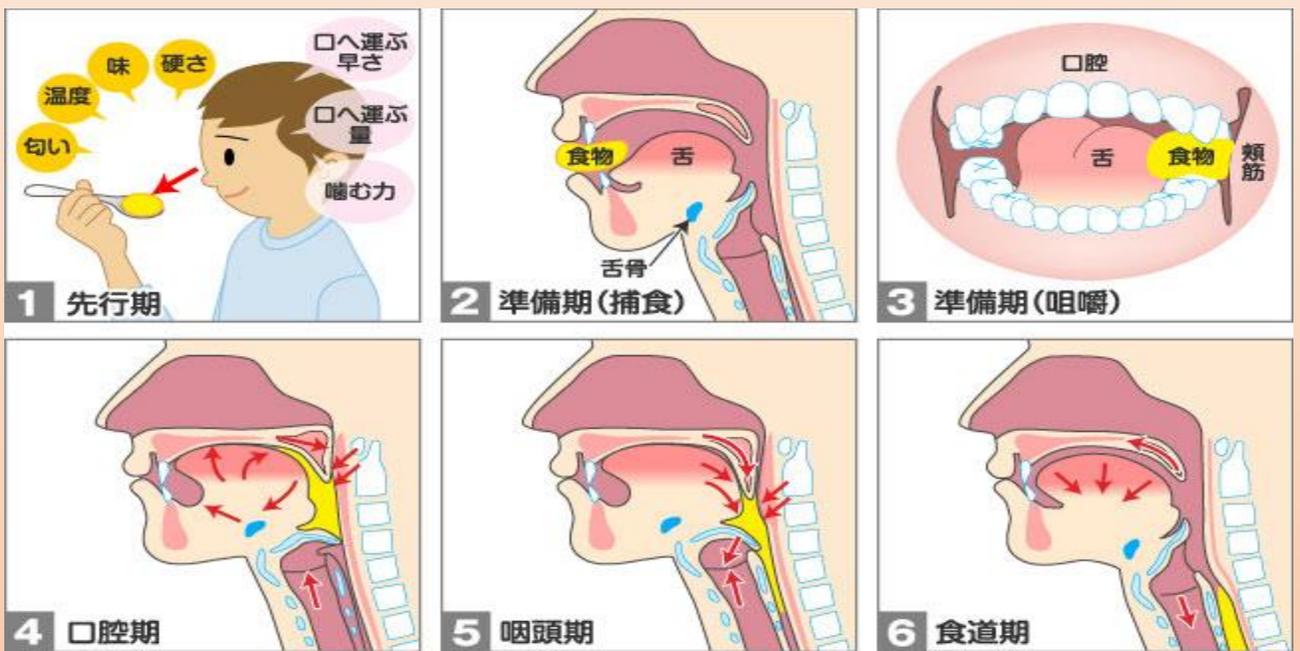
# (今回のテーマ)

## ～誤嚥メカニズムと予防～

### (嚥下プロセス)

- ①先行期 = 目の前の食べ物の形・量・質を認識する段階。
  - ②準備期 = 食べ物を噛み砕き飲み込みやすい形状にする段階。
  - ③口腔期 = 噛み砕いた食べ物を咽頭へ送る段階。
  - ④咽頭期 = 咽頭に送られてきた食べ物を食道の入り口まで送る段階
  - ⑤食道期 = 食道に入った食べ物を逆流しないよう今で送る段階。
- \*上記「食べる」という一連の流れを5段階に区切ってみました。  
この5段階の流れのうち1つでも困難を生じた場合を「摂食・嚥下障害」と言います

。(①・②での障害を摂食障害) (③・④・⑤で生じた障害を嚥下障害) とします



### (嚥下障害を引き起こす要因)

①口腔期が上手くいかない場合、考えられるのは「舌の動き」が大きく影響している事が多いです。舌が絶妙に動きながら口の食べ物を咽頭に送り込んでいるからです。

⇒⇒ (口腔体操) (舌運動) などが有効。

②咽頭期で障害が生じた場合。咽頭期では軟口蓋と喉頭蓋の2つの働きに問題ないか。軟口蓋は口の食べ物が鼻腔へ侵入する事を防ぐ蓋。喉頭蓋は食べ物が気管へ侵入する事を防ぐ蓋。特に喉頭蓋のタイミングが合わなかった場合、気管へ侵入(誤嚥)し激しくムせて、異物を咳で吐き出そうとします。気管侵入⇒肺到達⇒肺で炎症(肺炎)

⇒⇒ (発声練習) (咳払い訓練) (食形態変更) などが有効。

③口の中はたくさんの菌(常在菌)が存在しています。ケアが不十分になると膨大な菌が繁殖してしまいます。万一、誤嚥をしてしまった場合、この繁殖した菌も同時に肺に入り悪化させてしまうのです。⇒⇒口腔ケアは健康の第一歩です。